

ナム・ジュン・パイク

Nam June Paik

- 1932年 韓国ソウルで生まれる
- 1950年 朝鮮戦争を逃れ、香港、日本へと移住
- 1956年 東京大学文学部美学・美術史学科を卒業
- 1956- 1958年 ミュンヘン大学で音楽史、フライブルグ高等音楽院で作曲を学ぶ
- 1961年 フルクサス運動のリーダー、ジョージ・マチューナスと出会う
- 1962年 フルクサスの活動に参加
デュッセルドルフ、アムステルダム、コペンハーゲン、パリでパフォーマンス
東京、ローマでの展覧会に出品
- 1963年 西ドイツ、ブッパータールのパルナス画廊で最初の個展
電子技師・阿部修也と日本で出会う
- 1964年 ニューヨークへ移住、シャーロット・モーマンと出会う
ニューヨーク、フルックス・ホールでの「フルクサス・コンサート」においてパフォーマンス
フィラデルフィア美術大学にて、モーマンとの共演によるパフォーマンス
- 1965年 ニューヨーク、ニュー・スクール・フォー・ソーシャル・リサーチにてアメリカでの初個展
- 1968年 アメリカ、ニューヨーク近代美術館でのグループ展に参加
- 1972年 ニューヨーク近代美術館で2人展
- 1976年 ケルン芸術協会で大回顧展
- 1977年 ビデオ・アーティスト久保田成子と結婚
ニューヨーク近代美術館で個展
ハンブルグ美術大学で教鞭をとる
カッセル「ドクメンタ6」に参加
- 1978年 デュッセルドルフ州立美術アカデミーで教鞭をとる
ワタリウム美術館で個展
- 1979年 同校で「ジョージ・マチューナス追悼」をヨーゼフ・ボイスと共演
- 1981年 ワタリウム美術館で個展
- 1982年 ホイトニー美術館で大回顧展
- 1984年 1月1日、衛星中継番組「グッド・モーニング・ミスター・オーウェル」が米、仏、西独、
韓国などで放送される
- 1986年 曹洞宗大本山永平寺に参禅
- 1987年 ベルリン芸術アカデミー会員に選ばれる カッセル「ドクメンタ8」に参加
- 1988年 ソウル・オリンピックのために「多いほどよい」を制作
- 1992年 ソウルの国立近代美術館で個展
- 1993年 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレに出品

- ワタリウム美術館で個展
- 1994年 アメリカでの巡回展（インディアナポリス、フィラデルフィア、サン・ジョゼ、サン・ディエゴ、カンザス・シティ、ホノルル）
- 1995年 光州ビエンナーレに参加 第4回イスタンブールビエンナーレに参加
福岡美術館で個展
- 1996年 デンマーク、コペンハーゲンで個展
- 1999年 ドイツ、ベルリンで個展
ホイットニー美術館のグループ展に参加
- 2000年 グッゲンハイム美術館で個展
ソウルのホアン美術館で個展
- 2001年 韓国現代美術フェスティバルに参加
サンフランシスコ美術館のグループ展に参加
- 2002年 オーストラリアでのアジア・パシフィックトリエンナーレに参加
- 2006年 マイアミにて死去